



公立大学法人富山県立大学

情報工学部

担当：情報システム工学科 唐山

電話：0766-56-7500（内線 1480）

News Release

令和8年8月4日

産高大連携・対話 AI 研究を通した AI リテラシー教育 に関する説明会

近年、生成 AI の急速な普及に伴い、AI を正しく理解し、適切に活用する AI リテラシーの育成が重要になっています。今回の取り組みでは、富山県内の産業界（大高建設株式会社）・教育機関（砺波高校、高岡商業高校、魚津工業高校、富山県立大学）が産高大連携を行い、独自に準備した対話 AI を活用した実践的なコミュニケーション環境を構築し、高校生が対話 AI の性能についての評価を行うものです。

高校生は対話 AI に対して日常会話をし、その返答の違和感や優れた点、気づいた点をまとめます。その過程で、AI の利便性だけでなく、ハルシネーション（※）、著作権、個人情報保護などの問題についても学ぶことができ、AI リテラシーの教育にもなります。

さらに、大学と企業が成果に対して評価・助言を行うことで、AI を批判的かつ倫理的に活用する能力、論理的思考力、協働的な課題解決力を養います。この産高大連携の活動を通して地域社会や産業界で活躍できる AI 人材の育成を目指します。

※ハルシネーションとは、AI がもっともらしい内容を自信をもって回答するものの、その内容が事実ではない現象のことです。

■概要

産高大連携・対話 AI 研究を通した AI リテラシー教育 に関する説明会

8月6日（木） 13:00～14:30（質疑応答含む）

富山県立大学 DX 教育研究センター内 1 階オープンスペースにて開催

ご挨拶：13:00～13:05

第1部：13:05～13:25

「生成 AI の現状と課題」「産高大連携の概要」 富山県立大学 唐山 英明

- ・ここでは、生成 AI の現状と課題について、また今後計画している産高大連携の概要について分かりやすくご説明いたします。
- ・砺波高校、高岡商業高校、魚津工業高校の生徒とともに実施する実証実験の概要について説明をします。

休憩：5 分間

第2部：13:30～13:50

「実証実験に用いる対話 AI の概要説明」 大高建設 山本 健太郎

- ・ここでは、今回の実証実験に用いる対話 AI についてご紹介します。
対話 AI はスマートフォン上の専用システム（アプリ）として動作し、
実際の画面や操作方法、機能をご覧ください。

質疑応答・相談会：13:55～14:30

■対話 AI 実験の概要について

- ・今回導入する対話 AI は、大高建設株式会社が実装し、富山県立大学が学術的観点から助言を行い実現したものです。従来の生成 AI に、独自のソフトウェアを追加して安全性を高めています。
- ・対話 AI の実証実験では、高校生がこの AI を利用して日常会話をしながら、対話における違和感、気づいた点、改善点等をまとめます。まとめた結果を今後の対話 AI の性能向上に役立てる計画です。
- ・また AI を利用する際のリテラシーの育成にもつながる取り組みであり、富山県立大学が主体となり「高校生が AI を利活用するための注意事項案」をまとめます。

■その他

- ・第2部終了後、富山県立大学教員や大高建設株式会社研究者との質疑応答、相談・意見交換のお時間もございます。関連する案件やご相談に関してもお気軽にご相談ください。

参加は以下の連絡先へお申込み下さい。

富山県立大学情報工学部情報システム工学科
教授 唐山英明（とうやまひであき）

報道機関のみなさまへ

本説明会は、県内の「産高大連携」の気運を高めるための重要なイベントと位置付けており、大学として初めて開催いたします。報道機関のみなさまにおかれましては、当日の取材に関して格段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

当日は唐山教授の説明に加え、大高建設株式会社の山本氏からもご挨拶を申し上げ、産高大連携に向けた意気込みをお伝えする予定です。

なお、取材にお越しいただけます場合は、事前にご連絡をいただくと幸いです。